

令和5年度 玉川中学校 学校教育に関するアンケートのまとめ



この度はお忙しい中、アンケートにご回答いただきありがとうございます。今年度も市教委の「学びのトライアル」はWEBで、「学校教育自己診断」は用紙で、と別々の回答方法となりお手数をおかけしました。保護者アンケートにご協力いただいた家庭数（きょうだいが在籍する場合は上の学年で回答）は「学びのトライアル」268 家庭、「学校教育自己診断」256 家庭でした。遅くなりましたが、2つのアンケート結果をまとめて報告させていただきます。

※結果は回答項目のA「肯定的（よくあてはまる）」、B「やや肯定的（ややあてはまる）」、C「やや否定的（ややあてはまらない）」、D「否定的（まったくあてはまらない）」、E「よくわからない」のうち、A+Bを肯定的回答とし、その割合を%で示しています。生徒については学年別にも%を示しましたが、保護者は家庭数のため、学年別には示しておりません。

《学校生活全般》

学校目標「楽しい学校、明るい学校、きれいな玉川中学校」や学校の生徒指導の方針「あたり前のことを当たり前にできる生徒の育成」について、約9割の保護者の方々にご理解をいただいております。そして上記の「中学校区をめざす子ども像」をご存じの方は、昨年度より少し増えて4割弱、「学校の教育活動（授業や行事の取組みなど）において、中学校区内の学校園間のつながりを感じることもある」と答えられた保護者も昨年度より増え6割に近づきました。小中一貫教育の本格実施から5年。昨年5月からコロナが5類移行となつて、ほぼコロナ前のように活動できるようになっています。今後も「玉川中学校区をめざす子ども像」の達成に向けて、小中の連携を強化しながら、より一層充実した教育活動の推進に努めてまいります。

- 「玉川中に入学または新学年になって新しい友だちができた」生徒 93%
(生徒: 1年 97%、2年 91%、3年 91%)
- 「学校へ来るのは楽しい（子どもは楽しみにしている）」生徒 75%・保護者 79%
(生徒: 1年 80%、2年 67%、3年 78%)
- 「自分の学級が楽しい」生徒 79%
(生徒: 1年 79%、2年 77%、3年 78%)
- 「先生はわたしたちの意見や話をよく聞いてくれる」生徒 84%
(生徒: 1年 84%、2年 80%、3年 88%)
- 「先生はいじめなど生徒が困っていることに真剣に対応してくれる」生徒 77%
(生徒: 1年 69%、2年 82%、3年 83%)
- 「玉川中の生徒でよかったと思う（子どもの通う学校が玉川中でよかった）」生徒 76%・保護者 89%
(生徒: 1年 77%、2年 71%、3年 79%)
- 「学校行事は生徒が楽しく積極的に行える工夫がされている」生徒 82%・保護者 80%
(生徒: 1年 83%、2年 83%、3年 81%)
- 「学校行事には積極的に参加している」生徒 86%・保護者 87%
(生徒: 1年 88%、2年 84%、3年 86%)

保護者の方から「中学校に入学して、子どもに聞いても話さないで学校の様子がよくわからない」とのお

声がありました。思春期ということもあり、小学生の時のように学校や友だちのことを話さなくなる傾向があります。学校通信「玉川中 NEWS」や各学年の学年通信等の発行・配布、玉川中のHP(ホームページ)等で学校や学年の様子を随時お知らせしていますので、ご覧ください。

また、学校からのプリント類が保護者の方に届いていないご家庭もあるようです。6割の生徒は「その日のうちに渡している」と回答していますが、保護者の肯定的回答は4割です。学校の机の中、カバンの中にしわくちゃんになったプリントが滞っている生徒もいます。保護者の方からも、「重要なお知らせは、スマイルネットで通知してくれるのがありがたい。」とのお声を今年度もいただいています。学校もペーパーレス化を進めていきたいとも考えていますので、スマイルネットやHPのチェックも確実にしていただければ幸いです。

ただし、3年生は進路や卒業関係の重要なお知らせはプリントで配布し、期限までの提出をお願いすることが多いので、ご協力をよろしくお願いします。

- 「学校は、学校だより・学年（学級）通信・HPなどで情報を知らせている」生徒 86%・保護者 92%
(生徒: 1年 78%、2年 88%、3年 90%)
- 「おうちの人に学校からの手紙や文書をその日のうちに渡している」生徒 62%・保護者 41%
(生徒: 1年 68%、2年 57%、3年 61%)

《生徒の様子》

コロナの5類移行により、生徒たちの活躍の機会も増え、主体的・積極的に活動しさまざまな場面で力を発揮してくれています。「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」の肯定的回答がすべての学年で 95%という結果もその成果の表れと嬉しく捉えています。さまざまな活動の場面で、達成感を味わい、自己肯定感を高め、自分も相手（仲間）も大事にできる姿に成長しています。

「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」という質問にも、肯定的な回答者のほとんどが、「よくあてはまる」という強い肯定感を示していました。しかし、年間4回実施している「いじめアンケート」で、「いじめ」ととらえられるような言動がゼロになった訳ではありません。「いじめ」ととらえられる言動の発信者は「そんなつもりじゃなかった」「遊びのつもりで…」「冗談で…」でも、それを感じる生徒はとても辛い、苦しい思いをしています。「いじめ」は早期発見、早期解決が大切です。そのような事実がわかった時には、丁寧に対応してまいります。

生徒全員が「中学校区をめざす子ども像」にある「自分も仲間も大切にできる子」となるよう、さまざまな取り組みをすすめて、それぞれの場面での頑張りを認め、褒めながら、生徒たちの成長を促していきます。ご家庭でも励ましやお褒めの言葉かけをぜひともよろしくお願い致します。

- 「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」生徒 95%
(生徒: 1年 96%、2年 95%、3年 95%)
- 「人の役に立っていると感じることもある」生徒 71%
(生徒: 1年 78%、2年 74%、3年 63%)
- 「自分にはよいところがある」生徒 80%
(生徒: 1年 81%、2年 77%、3年 83%)
- 「自分と他の人の違いを大切にすることができる」生徒 96%
(生徒: 1年 97%、2年 97%、3年 85%)
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」生徒 96%
(生徒: 1年 98%、2年 96%、3年 95%)
- 「玉川中の生徒会活動（委員会活動を含む）は活発だと思う」生徒 78%
(生徒: 1年 73%、2年 82%、3年 77%)
- 「生徒会活動や委員会活動には積極的に参加し、協力している」生徒 66%
(生徒: 1年 65%、2年 66%、3年 66%)
- 「部活動に積極的に参加している（入部している人のみ）」生徒 84%・保護者 86%
(生徒: 1年 86%、2年 87%、3年 79%)

- 「子どもに役割（仕事）等をもたせ、それを褒めている」保護者 68%
- 「子どもの努力を認め、励ましている」保護者 94%
- 「先生（学校）は、あなた（子どもの）の努力を認め励ましてくれる」生徒 82%・保護者 83%
（生 徒：1年 82%、2年 77%、3年 88%）
- 「先生（学校）は、あなた（子どもの）のよいところを認めてくれる」生徒 83%・保護者 81%
（生 徒：1年 82%、2年 80%、3年 90%）

≪授業・学力向上・ICT≫

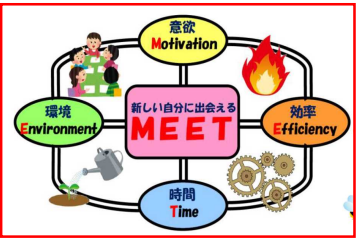
昨年度から生徒たちの持続可能な学力向上のため、「MEET 作戦」という学校独自の学力向上の取組みを進めています。今年度は、昨年度より定期考査を1回減らして年3回とし、単元ごとに定着テストを行ってスモールステップで学力の定着を図っています。実力テスト（1・2年生は年間2回、3年生は年間5回）を行い、本当の意味で実力がついているかを客観的に確認しています。

学力向上施策「MEET 作戦」の認知度は、生徒も保護者も昨年度より 10%以上アップしていますが、肝心の生徒が「役に立っている」と感じている割合は昨年度より下がってしまいました。しかし、単元テストをすることで、毎週いずれかの教科の自主学習をすることになり、家庭学習で何を勉強すればよいのかがはっきりとします。3年生は受験勉強が大部分でしょうが、自主的な学びに取り組んでくれているのは嬉しい結果です。

放課後学習や玉川 ST の取り組みにもどんどん参加して、自主的な学びの時間を確保し、その学習習慣を確実に身につけてもらいたいです。

- 「玉川中の学力向上の取組み（MEET 作戦）は知っている」生徒 77%・保護者 69%
（生 徒：1年 76%、2年 81%、3年 73%）
- 「単元テストは、自分の学力向上に役立っている
（子どもは、単元テストに向けて積極的に取り組んでいる）」生徒 69%・保護者 66%
（生 徒：1年 70%、2年 78%、3年 57%）
- 「（子どもは）放課後学習・玉川 ST には、よく参加している」生徒 25%・保護者 24%
（生 徒：1年 26%、2年 23%、3年 27%）
- 「普段家で、どのような学習をしているか（複数回答可）」

- ①宿題（全生徒 64%：1年 68%、2年 72%、3年 54%）
- ②授業の予習・復習（全生徒 8%：1年 8%、2年 7%、3年 10%）
- ③自主的な学び（全生徒 13%：1年 9%、2年 7%、3年 22%）
- ④学習しない（全生徒 15%：1年 15%、2年 14%、3年 14%）



文部科学省が1人1台の iPad 貸与を始めて3年。生徒たちは学校でも家庭でも iPad を毎日のように使っています。授業での使用は「ほぼ毎時間：55%」「1日に1～2回：43%」とほぼすべての教科で活用しています。ロイロノートでの課題提示や提出物も多くの教科で行っています。しかし、使い始めた頃の気持ちが薄れてきたのか、「勉強の役に立つ」や「学習意欲が高まる」と感じている割合は昨年度より下がってきています。

生徒たちは授業での使用法以外のさまざまなテクニックを身につけており、ルールやマナーに反する使い方をしている例も増えています。また「貸与」である意識が低く、経年の劣化や汚損もあるからか、扱いが雑で破損もよく起こっています。故意ではない破損の修理は市教委の予算で行っていますが、修理がなかなか追いつかない状況です。

また勉強以外の目的で、ICT 機器を長時間使うことにより、生活習慣が乱れ、遅刻や授業中に集中できないという弊害も続いています。インターネットや SNS に絡んだトラブルも巧妙かつ悪質化しており、とても心配な状況です。特にスマホや携帯電話は、保護者の責任において契約されているので、トラブル等の責任は保護者が負わねばなりません。ご家庭で再度お子さまと、iPad やスマホなどの使用ルールについてご確認いただきますようお願いいたします。

- 「学習の中で、iPad などの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う」生徒 90%
（生 徒：1年 90%、2年 90%、3年 91%）
- 「iPad があると、学習したいという気持ちが高まる」生徒 77%
（生 徒：1年 80%、2年 75%、3年 77%）
- 「iPad の使い方について、家庭や学校で自分たちが決めた約束を守っている」生徒 83%
（生 徒：1年 85%、2年 81%、3年 85%）
- 「学校が休みの日（土日など）、1日あたりどれくらいの時間、ICT 機器（iPad やスマホ等）を勉強のために使っていますか」
→ 3時間以上使っている生徒 生徒 15%（生 徒：1年 17%、2年 8%、3年 21%）
- 「学校が休みの日（土日など）、1日あたりどれくらいの時間、ICT 機器（iPad やスマホ等）を勉強以外に使っていますか」
→ 3時間以上使っている生徒 生徒 50%（生 徒：1年 45%、2年 47%、3年 57%）

≪ご質問・ご意見について≫

◎単元テスト・定期テスト・授業規律・授業内容

本校の学力向上の取組みに多くのご理解をいただいた一方で、不安の声もいただいております。来年度も単元テストは継続しながら、年3回の定期テスト・実力テスト(1・2年は年2回、3年は年5回)を実施いたします。ただ、単元テストについては、「理解度〇〇%」のような形での成績個票を作成して、生徒だけでなく保護者のみなさまにもわかりやすい形で結果をお返しし、「成果の見える化」を図りたいと考えております。

また「学力向上通信 MEET」の中で、「これからの世の中はどのように変化していくのか」、「その中で求められる学力とは」、「また学校はどう転換していく必要があるのか」など「令和の学校教育」と題して、シリーズ的にお伝えしていくことを通して、それぞれのご質問への回答を丁寧にお返しいたします。生徒に配布した通信は HP にも掲載しておりますので、ご家庭でもお子さまと一緒に読みいただき、狭義の学力ではなく、生涯を共にする本当の学力について考えていただければ幸いです。

◎校則・服装・授業規律

今回のアンケートでは、ウィンドブレーカーの着用についてのご意見をたくさんいただきました。体調不良やインフルエンザ等の流行により換気が必要な場合があるため、きちんと制服を着用した上で、ウィンドブレーカーを校内(教室内)でも着用可といたしました。これについては、1/31(水)の「生徒指導通信」でお知らせしております。ただし、学校生活でのさまざまな場面の中で、生徒にはTPO(時間<Time>・場所<Place>・場面<Occasion>)をわきまえた服装やそれに見合った行動をすること)の常識を身に着けてほしいとも考えており、正式な場面(式・表彰等)では、着用していたウィンドブレーカーを脱いで臨むことといたします。

◎楽しい学校生活・行事・部活動等

- ・玉川タイムは今年度、全学年の舞台発表やクラブでの発表、展示発表、動画発表等、4年ぶりにかなり本格的に開催できました。体育館の空調工事も終わり、来年度は涼しい体育館でより一層内容を充実させられる予定です。
 - ・運動会は今年度初めて平日開催し、給食の時間の都合もあり、午前中のみ保護者に観覧いただきました。来年度も平日開催の予定です。生徒が主体的で一生懸命に取り組むことのできる運動会、また、その活躍を保護者の方に楽しんで見ていただける運動会にしたいと考えています。
 - ・生徒会では意見箱をロイロノートに設置したところ、たくさんの反響をいただきました。委員会活動も今年度以上に自主的な取組みを積極的に進めてまいります。
 - ・学年行事については、時間の許す限り工夫して増やしていきたいのですが、授業時数の確保もあり厳しい状況であることもご理解ください。
 - ・部活動については「安心・安全」に活動できるよう教職員の配置を行わねばなりませんが、ここ数年、生徒数および教職員数が減少しているため、「安心・安全」を担保することが困難となっています。そうした経緯の中、令和6年度よりいくつかの部が募集停止となります。苦渋の決断ではありますが、ご理解いただきますようお願いいたします。
- *****
- 今後も「玉川中の生徒でよかった(子どもの通う学校が玉川中でよかった)」の肯定的回答100%をめざして、教育活動を進めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。